
【長男（ウーフ）】の育て方

沙山はるか

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

【^{ウーフ}長男】の育て方

【Nコード】

N9831F

【作者名】

沙山はるか

【あらすじ】

はるかのかの【一人っ子・長男】の子育てエピソードをネタに、子育てを頑張り過ぎなくていいんだあ　　と思えるキツカケになれたらなあ。　　っと思ひ書きました。　　とかく一人ぼっちの育児で誰にも相談出来ず、ある時は子供にツラく当たってしまつて、寝顔にそつと「ごめんね…」と謝つたり。　　だけど、考え方で子供に対する気持ちや接し方が変わつて、自分もラクになれる！……書いていて『これってエッセイか？』って自問自答してますが、子育てに不安や悩みを抱えるママに私なりの何かを伝えたい！　　っていう想いを込めまし

た。

プロローグ（前書き）

はじめに。個人的な角度からの視点ですので、全ての方が当てはまるとは限りません。しかし、これから少しずつ書き溜めていくものを読んでくださって、大袈裟ですが・・・いわゆる育児ノイローゼとか虐待とかという悲しい方面に足を運ばずにすむのでは？という思いもあります。

ブローグ

私には息子が一人います。

「一人っ子・長男」ってヤツです。

彼も例外なくマイペースでおっとりした優しい子です。

しかし、それは一般的にみた長所的な面からの事。
実態は・・・

- ・目の前しか見えてない、のんびり屋。
- ・どんなに大変な時でも”我、関せず”というノリで生きている。
- ・頼まれたらNo！と言えない性格。

母親からしたら『謎のイライラ発現体』とでもいいくなるような生物です。

しかし、自分のおなかを痛めた子であるが故、可愛く見えてしまう。
そして、責任という感情がついてまわります。

彼を産んでから10年の間、よくノイローゼにならなかったなあと思う。

自分も三人姉妹の三女だから、マイペースなところは共通点だから？あきらめていたのかもしれないけれど。

しかし、時折『こんな風な子育てでいいのだろうか？』と悩みました。

そして、『この子はこんなマイペースでこれから先、大丈夫なのだろうか？』とも心配しました。

だけど、本好きな息子の学校での姿が遠目から見ることが出来る！っ

と思い、小学校の図書ボランティアに登録しました。

また、同じような本友達が出来るかもしれない…っていう期待もありました。

その図書ボランティアに参加することで、たくさんの出会いと知識と安心を得ることが出来ました。

題名にもありますし、これからもたびたび出てくるキーワード【ウィーフ】これもその図書ボランティア仲間での会話から生まれた呼称です。

数々のエピソードと共にウィーフネタ満載です。必ず、子育てのイライラが軽減されることと思います。

プロローグ（後書き）

今回はプロローグということで、全然さっぱり？？って感じでしたしょうが、徐々に【一人っ子・長男】の扱い方の一つをご紹介します。てゆきたいと思います。ご感想などありましたら、よろしく願います。次なるパワーのもとになりますので・・・

【ウーフ】とは？（前書き）

前回は、プロローグということで「はじめまして」のご挨拶でしたが・・・今回は実際ウーフというのは何？っていうところをお話したいと思います。クスツとしちゃうところも含めて分かっていたきたくて、恥もさらけ出しての内容です。ぜひ笑ってください。

「ウーフ」とは？

息子は今、中学生となりました。

彼が小学4年生の頃でしょうか？

図書ボランティアでの読み聞かせの本選び・色んな絵本の意見交換・
・といったらカッコイイですが、とにかく本の事についておしゃべりしていました。

皆さんもよくご存知の『くまのこウーフ／神沢とし子』という本があります。その紙芝居を朝自習の読み聞かせにやってみよう！という話からの脱線です。

「ウチの息子。。このウーフくんみたいなのよねえ。」

この一言に周りのお母さん方も「ウチもよお。」「ウチの子もそうよ。」という声が続々に出てきました。

その後からは「ウーフのこんなところが似ている。」だの「このお話のこんなところがソックリよ。」と具体的なところまで進む進む……どんどん出てくる。面白いほどに出てきました。

本人は一所懸命に頑張っているんだけど、オチといいましようか？結果的に上手くいかない。

親からみていると歯がゆくて……鈍クサくて……見てられない！

とくに幼児期・学童期になると、挙句の果てには

「ボクってダメなんだあー！うわあーん！！」

と泣き出す始末。

親はなるべく自分で出来た達成感を！と思ってフォローするけれど

「ボクがやってるんだから、いじらないで！」

みたいな事を言われるものだから手を引くと・・・言わないこっちやない、上手くいかず大変なことに。。

学校でもみんなと同じようなことをしているんだけど、最後まで時間が掛かったわりに肝心なことを聞き逃して上手くできず、早く終わった子にお世話になり完成させる。ってことも数しれず。

席替えて、隣の女の子が世話好きさんだと、授業参観の度にその子のお母さんに「いつもいつもお世話になってます。すみませんです。」と頭を下げてます。なあんていう話も。

結局、そんな子供たちを【ウーフ】と呼ぶようになりました。

色々なお母さんの話から、ウーフな子供たちって？って探っていくと

・一人っ子もしくは第1子の長男

・長男でも上にお姉ちゃんがいる場合も少なからずいる

・男の子の双子

要するに”男の子”とくに”長男”が著しく多かったんです。

女の子のお母さんからは逆に心配がられる言葉ばかりをいただきました。

中には女の子でもおっとりしていてウーフ的なんです。っていうお母さんもありましたが、そんな場合は、原作にウーフのお友達でうさぎのミニちゃんという女の子が登場します。

ですから、ウーフ的な女の子は【ミニちゃん】と呼んでいました。

逆に、次男で上のおっとりとした行動を見て育ち、要領よく何でもこなし、はたまたお世話上手な男の子という、羨ましいほどのお子さんもあります。

原作にはちゃあんとそんなしっかり者のお友達も登場しています。ウーフやミニちゃんと同じ年らしいのですが、弟思いのきつねのツ

ネタくんです。

ですから、そんな羨ましいタイプの男の子は【ツネタくん】と呼ばれるようになりました。

毎週月曜日の午前中、図書室で活動をしてきた図書ボランティアも和気藹々とやっていき、学年の違うお母さん同士でもたくさん仲良くなりました。

小学校を卒業した今でも、とっても時々ですが…都合のつく人同士ランチをして、日ごろの溜まったウーフネタを話して…笑い…お母さんのストレス発散をしています。

話は初めに戻りますが、彼が小学4年生ごろから、これから先の心配もするようになって来ました。具体的には”思春期にどのように接したらいいのだろうか？”こんなに穏やかな子でも、反抗期は小さからず大きからずの差はあるとしても必ずやって来る。”も”と大きくなってグズグズしていて社会に出たら心配だ。”悩みはどんどん膨らむ・・・目の前の子供は楽しくマイペースで朗らかな毎日を過ごしている。

まあ、ギスギスした毎日を送るよりかはイイに決まっているけれど…のんびりしていて、いざという時に行動できなかつたら？！特に地震や災害が当時は多発していて、「いつ何処で大きな地震が起こってもおかしくないのです！」などと報道されていましたから、四六時中ついているわけにはいかないですし、自立してもらわねばなりません。とつさの時は自分を守るのは自分自身でしか守れないのです。

のんびりでマイペースですが、「ボクはこれじゃなきゃヤダー！」とダダをこねるようなわがままというのもちよっと違います。本当に全てにおいてスローリーなんです。「急ぐ」とか「急がなき

や」という語録は頭の片隅にしかないのでは？というほどなんです。だから、聞いている様で聞いてなかったり・・・聞いてない様でチヤツカリ聞いているんです。一言で言うと【謎の生物】なんです。

【ウーフ】とは？（後書き）

いかがでしたか？どのような子をウーフと呼ぶか、お分かりになっていただけたでしょうか？決してマイナス面ばかりを指しているのではなくて、頑張っている過程も考慮して呼称というより、愛称でしようね。

親子の関係（前書き）

どうも…今回は実際にこんな風にしたことなども交えながら、【ウーフ】っと認識することにより、生まれる親子関係をご紹介します。

親子の関係

私自身とっても救われました。

本仲間の方達で、ウーフ話をしているとス〜ツとしたんです。

「こんなにトロイのは我が子だけなんじゃないか？」

「どうしてよその子はあるのにアレもコレも上手にこなせるのに。。
どうして？」

って悩んでいたのは自分だけじゃないんだ。

この人達になら今まで悩んでいた事や失敗談も話せる。

この活動に参加してよかったあ。って思うようになりました。

カリカリ・イライラきそうになっても『そっかあ、ウーフだもんね。仕方ないよね。』っとそうやって自分に言い聞かせるようになったらラクになったんです。

現状を見て今までなら『早くしなさい！なんでモタモタしてるの！』と口を挟んで手まで出してしまっていました。

しかし、自分自身に言い聞かせている僅かな時間が、私の方に余裕といいましょか…受容といいましょか…空白の時間、良い間合いが生まれたのです。

それから息子と向き合うことにより、子供へのプレッシャーが和らいだのでしょう。子供の方も自然と自ら進んで取り組んだり、自分なりの方法を考えたりするようになりました。

そして、ボクは したい。っという自分なりの意見や考えも言えるようになってきました。

もちろん、いきなりはムリですし急に変化が見えたわけではありません。せん。

今にして思えば・・・という視点からお話しているのがねえ。

当時はそんなことは微塵も思えませんでした。1年経ち・2年経ち・

3年経ち・・・って時間が経つにしたがつて、ガミガミ怒ることが減ったように思います。

むしろ、彼の個性を尊重した上で、彼方なりの改善策と一緒に考えよう！っと話を持っていくようになりました。

何故か本仲間のウーフたちは時代の流れなのか？ウーフ特有の争い事を嫌う特性からか？

地元の元気がありあまるほどの子供たちが集まる中学校のウワサを聞きつけて、中学受験に挑む決心をしました。

もとのんびり屋さんでマイペース。争い事も嫌いで、ましてや他人を退いてまで自分が抜きん出て何かを得る！なんてことは間違ってもしたくない子なのに。。。

私自身、自分に相談されても父親にどう話を持っていった方がいいものやら悩みました。

一番は、他でもない金銭面が避けては通れない問題がありますから。しかし、日頃ウーフの生活を間近で見ている母親からしたら、今まで自己主張という言葉からは離れている性格のウーフから、初めて明確な理由もつけてまでの自己主張！叶えてやりたいと思ってしまふんですよね。

ウチの場合は、祖父や主人の影響から教員になる夢がありました。小学校に入ったぐらいの頃からの歴史好きは周知の事実でしたので、その歴史をもっともつと研究したい。という具体的な展望を提示しての直訴でしたね。

他のウーフ君たちにもそれぞれの様々な理由がありました。また、お母さんからみてウーフだからこそ！器用に（世の中を）渡っていかれないであろうウーフだからこそ、チャレンジさせたい。という方もおられました。

つとまあ話がだんだん逸れていつてしまいましたが。。

あんなこんな・あちらこちら・と色々な物事にぶち当たりながら親子で毎日を潜り抜けてきました。「毎日を過ごした」というよりも「毎日を楽しんできた」というよりも、やはり『毎日を潜り抜けてきた』という表現がしっくりきますねえ。

今では、ウーフでも色んなウーフが集まると面白い！つとまで思えるようになってきました。

今度はどんなネタを繰り出してくれるのだろうか？つと期待さえしてしまうほどのです。

しかし、現実には目を向けると中学生ともなりますし、楽観的なことばかりいつてもいられないのですがねえ。母としても、頭の中では分かっているのです。もつとゲキを飛ばしてハツパをかけてやらねばならないことも。

ただウーフされどウーフ。。押さえつければ押さえつけるほど萎縮してしまう場合があるのです。押したり引いたり上手い具合にアメとムチなどを用いて誘導しなければ、本末転倒となってしまうことにもなりかねないのです。

ただ、野放しにしていれば良いわけではありません。

ウーフという謎の生物の特性を見抜いて、上手くフォローしてゆかねばならないのです。

そんなの難しすぎる！！出来ない！！って思ってしまう方も居られると思いますが、大丈夫。

再三話に登場してきます言葉【マイペース】【のんびり屋さん】【おっとりしている】【争いごとが嫌い】これらのキーワードからするに行動が決まってくるから、一つの物事にたいしての反応が読めます。

それから、ウーフは好きなことには集中力が持続します。とても熱

中しすぎてトイレも我慢する子もいるほど。子供は元来好きな事には熱中しますがねえ。ウーフはマイペースが故に？？好きな事には「オタク」と呼べるのでは？というほどに固執する傾向があります。なので、好きな事にムリヤリでもいいので関連性を見い出したらチャンスです！！

そこからは親が手を出さなくても勝手に幅を広げていってくれます。

例えば…ゲーム。子供たちの好きなポケモンのソフトに熱中していたら。。。

ポケモンのモンスター図鑑と一緒に見てみると分かりますが、モンスターそれぞれに属性・特性というのがあり、相性の悪い属性や相性の良い属性があるのが分かります。

理科の「電気と水の反応」に応用することが出来ます。でんきタイプとみずタイプの相性は？分かりますねえ…電気は水を通りますから、みずタイプからみるとでんきタイプとは相性が悪い。つとになりますねえ。

意外と色々なタイプがありまして、でんき・みずの他に、くさ・じめん・ほのお・こおり・いわ・あく・エスパーなど…

社会の特産物も、今日の夜はカレーよ。最近はスーパーや出荷元でも産地明記されているものを多く見かけます。そんな身近な話題から産地名とその場所を地図で見えるつというのも良いでしょう。おやつのお菓子の袋を見ながら、これって 県でつくってるんだあ。などと話すのも良いでしょう。

子供はゲームや食べ物物の話にはノッてきますからねえ。

特にウーフは食べ物大好き！！ですから。。。

今までの話から…親の方にも余裕というか一呼吸おくことにより、声かけが柔らかくなり…親子関係も円滑になってゆく。って事ですねえ。

親子の関係（後書き）

いかがでしたか？心がけしただけで全く違う親子関係が生まれるのはオドロキですが、常識が通用しない相手には…常識から一歩離れてみないと太刀うち出来ないって事でしょうね。

ウーフの特性1

息子と仲良くしてる子達は、やはりウーフです。

- ・ウチと同じ一人っ子
- ・第2子長男（上下女の子に挟まれる）
- ・双子の長男（男女の双子）

自己主張しない4人が集まって遊ぶと何して遊ぶか？ってところから迷う。

友達同士なのに…譲り合い精神がそれぞれに出て決まらない。そう！ただの優柔不断の集団と化してしまう。

親からしたら、その時間もつたないから！って思ってしまうが、彼らにとってはソレすらも遊びの一部であって楽しいらしい。

夏祭りに、地元の商店街に並ぶ屋台の道を「どのお店にする？」と話しながら歩いていたら…屋台が間バラになってしまい、Uターンして歩いてきたら反対側の端っこ近くなってしまい…っていう有り様。

しかし、帰り道には『今日はとっても楽しかったね〇（＾・・＾）〇』
などと満面の笑みでのたまふ（・・・；）

学校であってもウーフのオーラ出しまくります。

先生がプリントを配ってゆきます。

一枚取り、残りを後ろの子へ渡す…ハズなんです、一番前で先生にプリントの束を渡され、そのまま後ろの子に渡してしまう…：家

でアレ？今日もらったはずのプリントがない！！って騒動になり、学校へ取りに行くっていうかもらいに行く（――；）

そうそう、大抵のモノは二つないしは余分に用意しておくべき。。

名札は2つ用意しておいたり…消しゴムも2個、赤鉛筆も2本筆ばこに入れてあります。

なくなったり…学校の机にしまったまま下校したり…ノートに挟んだままカバンにしまい下校したり…は当たり前。なので、その都度怒り爆発！しない為に…準備を。

ある子は、体育帽子を3つ持っていました。1つは、3年の1年間自宅の机の奥で潰されたままでしたから（^―^；）

あとは…となりの席の子の教科書まで持って帰って来ちゃったり…も当たり前のようにあったし。

いつも注意されているがゆえに、気をつけないと！って思っているんだけど…そっかしいというか、おっちょこちょいなところが多々あります。

その上コチラが気をきかせて助言しても『そっかなあ？』なんて言っただけで耳持たず（――；）

ウーフの特性1（後書き）

つまあなんといいましたよか…例えを出したらキリがないほどですが、次回から良い事困った事などなど挙げてゆきたいと思います。

特性2 意外な一面 (前書き)

今回のウーフくんは、大活躍しますよーo(^-^o 今までのふにゃふにゃした感じでなく、意外な一面をご紹介します。

特性2 意外な一面

こんなに『いい人』やっててどうする？

学校ではイジメられないだろうか？と母親ですから心配しています。

イジメっ子というのは、元々悪い子供なんていません。

周りの環境・情報などが一番の原因だと思います。

また、子供なりに新しい環境（クラス替えなど）で、優越感・優位にありたいっという気持ちだが、自分自身気付かぬうちに良くない表現方法で、周囲に向けられているのでしょう。

ウーフも例外にならず標的にされます。

だって、見るからに弱そうですから。言うことききそうですから。まあそんな時は、やはりしばらく相手にやられまくるんです。情けないけど…。

しかし、その後は親も予想しない展開になるんです！！！！

先ず1人目のウーフくんの場合。

小学校入学時から地元の剣士会で剣道の稽古に通うウーフくんは、手近のほうきを取って構えた。そして、一瞬の間にわんぱく君に面一本を軽く（？）打ち込んでしまった。

もちろんその後はわんぱく君からの嫌がらせはなくなりました…。

次に2人目のウーフくんの場合。

また別なパターンで嫌がらせを受けていたある日。

普段はぼわ〜んとした2人目のウーフくんも、耳まで真っ赤になっ

て、腹の底から大きな声を出して『やめろお！』と怒鳴った。
もちろんコチラもその後はわんぱく君からの嫌がらせはなくなりました。

更に3人目のウーフくんの場合。

少し背丈が大きめなウーフくんでした。

何度もつつかれたりの嫌がらせに耐えかねて、『やめろよ！』の声
と両手で押し返した。が…相手にしたらバァン！と強い力で押され
て後ろにひっくり返るといっつか？なぎ倒された状態になってしまっ
た。

もちろんその後は、言うまでもない事ですな。

共通点は、初めはやられまくってますが、耐えかねると莫大なパワ
ーが出てきて、一撃で優位に立ってしまう。

その影響力は後々まで残すようなびっくり！な行動をする子なんで
すねえ。

親からしたら、とっても頼りなさげなんですがねえ。意外な特性を
持っているんです。

特性2 意外な一面 (後書き)

いかがでしたでしょうか？隠れたウーフくんの底から？を垣間見た感じではないでしょうか。。。

ウーフ迷言集？

【ボクに まかせて！o(^ - ^)o】

この言葉を聞いて、あなたはどう思いますか？

1：良かったわぁ。やっと自信を持って、やる気になってくれたのねえ（^o^）

2：えっ？！ウソ！それが一番心配なんじゃない（TOT）

いくつになってもウーフはウーフです。

よって、2番を選んだあなたは ウーフの母としてなかなか特性を掴めていますねえ。

1番のあなた、ウーフは大きくなってでもウーフです。用心はすぎるくらいでちょうど良いんです。

これは実際にママ達のランチでも分かれました。

やはり、しっかりした女の子のママは1番でしょぉー！といい…

ウーフの母は迷わず2番を選びました。

【じゅゝぶん。じゅゝぶん。】

これは、公園でジャングルジムでの一言。幼稚園に入ったばかりにもありました。

その時のウーフの位置は……1本目のところ。

っていう事は、ウーフくんは地面から1つ上がっただけで充分らし

いです。

っていうか、コワイので冒険なんてしません。

” 石橋をたたいて…も 渡らない ” んです。ウーフは。

” 石橋をたたいても渡らず 他人が渡るのを見てから渡る ” って
いう感じ。

もしくは、他人が渡るのを見て、自分も渡った気分になって「充分満足」ってことなんでしょう。

【けっこでしゅ。（ガチャ）】

電話に出たいころ…幼稚園くらいかな？

たまたま私より電話に近い場所にいたので、出てしまった時の言葉で、この後ガチャときつてしまっただけです。

日頃、セールの対応をそばで聞いているんですよ。さすがに私も、この時オドロキました。

もちろん、その後も「どうして切っちゃったの！大事な電話だったらどうするの！」なんて叱りません。

だって大事な電話だったら、また掛かってくるに違いありませんから。そう、ウーフの母でいるにはそのくらいの腹をくくった方がラクに生きられると思いますよ。

【あぶうない！あぶうない！】

これは、まだ幼稚園入らないか？入ったばかりの頃。

お散歩をしている時に、遠くから車が走ってくるのを見つけると…忍者の様に壁にへばりついてしまうんです。

もちろん一緒にお散歩している私ないし主人に向かって発せられた

言葉です。

普段なれている私は「はい。はい。」と受け流し、道の端によりましたが・・・

主人は「????」コイツは何をしたいんだ？つとばかりに不思議がっていました。

今回は少ししかご紹介出来ませんでしたけど…まだまだです。また貯めておきますねえ。

いくつになっても

ウーフは、子供ばかりではないんです。大人の中にもウーフは存在しています。驚くべき時代だわあ。

息子が10歳頃

そう、昔ならそろそろ自立して、家を手伝いながら勉強もして……となりつつある歳なのに！現代の善きにも悪しきにもラクをし過ぎたのかもしれないねえ

私は驚愕な事実に気がついてしまいました。

それは、日頃色々な事に対して家族一？いや、たいていの人とは比べものにならないくらい冷静沈着で、何事にも第三者的な目で捉えて、私からしたらなんでもこなしてしまい憧れの主人が……まさか！のまさか。まさに身近なところにいるもう一人のウーフだったんだっていう事に……気づいてしまったんです。

長男だし……でも弟さんもいるわけで、一人っ子ではないんだけども。普段の言動や動向から分析してみると……【普段はツネタの皮をかぶったウーフ】気がついた瞬間は後ろに倒れるかと思いました。

ウーフの母達で、旦那さん分析をしてみると……ウーフ度の高いウーフくんの父は、やっぱりウーフなんです。

中には一人っ子長男でもツネタくんな子の父親はやはりウーフではないし……。

分析しだすと止まらなくなるほどで……結論に行きついたワケですが、【いくつになってもウーフはウーフ】

まあ。しかし、大人ですから常識的な範囲で行動したり発言しますから、普段は分かりにくいんでしょうけどねえ。成長する過程で、上手くツネタの皮を着られた人、ちよいツネタの皮を着られた人、しっかり系？ウーフの人、やっぱり大きなウーフをウーフの上から着てる人：様々ですがねえ。

でも！家に帰ったら『皮』は脱ぐんです。だからウーフになってしまうんです。

普段どんなにクールな人でも、普段どんなに知的な人でも：

まず、ココまでくると笑うしかないっていう感じになってくる。腹をくくるといいますか？”母”として自分自身頑張らなくてもいいんだあ。なんて思ってしまったたりもする。

が、しかしここでも落とし穴が：父親も子供もすっかりウーフで：

母はミミちゃんだったら？？？

しかも、その母が「頑張らなくてもいいんだあ〜」って思ってしまったら？？？

誰もまとめ役がいなくなってしまうている！！これも歯止めが利かずヤバイですねえ。

だから、母親としては頑張らなくてもいいんだけど、決め事や何かはワタシ流っていう風に硬く考えずにいけば：それも　かな？なんて思います。

明るいニュースが少ない世の中：ウーフな生き方もある意味スゴい選択肢だけど、一つアリかな？なんて思ってみたりも時々します。でも、ワタシには出来ないなあ。。。

一人ぼっちじゃないよ

毎日の中で

『いつまでこんな風にしないといけないの?』

『私だけが……』 または『ウチの子だけが……』

一人ぼっちの子育て…社会からの疎外感を多かれ少なかれ体験するかと思います。

それは子供や旦那がウーフに限らず、多くの方が感じる事かと思えます。

一度ネガティブになると、どんどん発想がマイナスになっていきます。

私も元来そういう発想しか出来ない性格で、未だにその片鱗はあります。

息子を産むまでは…更にさかのぼると、結婚する前までは特にその傾向が強くて泣いてばかりでした。

でも、全てにおいて【考え方】がキーポイントかと思っています。

初めの【ウーフとは?】でもお話した通りに、一つの特性も見方を変えたらいくつもの表現の仕方が出来ます。

・物静かで、落ち着き、大人しく、控えめな性格

・ひ弱で、引っ込み思案で、ハッキリしない優柔不断

逆な性格も然りで

・明るく元気、明朗快活、決断力に優れ、積極的な性格

・うるさく、落ち着きがなく、自己主張が強過ぎる

時と場合、場所などをわきまえないと、同じような人でも印象的に悪く映ってしまいます。

とかく日本語は曖昧な表現が多く、紛らわしくて間違って解釈されやすいものですから…

また、その曖昧な表現があるからこそ、微妙な感情表現を芸術的に表わす事も出来るのでしょうけどねえ。

ですから、子育てにおいても同じような事がいえるハズ？と考えました。

『みんなも同じように子育てしてるんだ。』

『母も私を育ててくれた時に感じていたはず。』

『第一子を育てているママ達は、みんな不安な思いをしているかもしれない。』

そう思ったら一人ぼっちに感じなくなりました。

それから、またある時は…

『こんなに熱ばかり出して…イベントはこの子の熱でキャンセル。どうして？私は細やかな楽しみも楽しんではいけないの？子育ての間は何もかも我慢しなきゃいけないの？』

『フツー通りになかなか満足に出来ないこの子は、大きくなってもこんな風なままなの？

このままで大丈夫なんだろうか？』

などなど……閉塞的に考えたり。

日々ツライと感じられるような場合、ずっと続いていきそうに思っています。っていうか私も思っていました。

しかし、赤ちゃん時期の夜泣きだって、半年以上続くわけではないですし……

トイレトレーニングがなかなか上手く出来ない子も、学校上がってまでおむつの子はいません。

どもりがちな子も、こちらがゆっくりでいいのよ（＾―＾）っとこちらにゆとりをもって接すれば、だんだんとフツーに話せるようになりますし。

そう！今の現状は永遠ではない！

そして、自分と同じような環境の人は他にもいる！

だから、マイナスに考えなくてもいいんだよ。

一人ぼっちじゃないんだよ。大丈夫。

きつと明日は……。もし明日じゃなくても、そう遠くない将来には仲間に出会える。

特性3 ヴーフ時間 (前書き)

ちよこちよこ思い出したように書き溜めているウーフ話。
笑ったり、うなずいたり、わが子観察のための材料になれば。。。
と思います。

特性3 ムーフ時間

【ムーフ時間】

ムーフの行動や考え、全てにおいて絡んでくる非常に緩やかな流れです。

焦らずゆっくりの彼らですから、他人と同じ作業をしようものなら当然のごとく遅れてしまふんですが……
それがまさしく！ムーフ時間です。

- ・自分自身は頑張ってやっているつもり。
- ・自分自身は遅いなんて思ってない。
- ・周りは見えていない。

だから、周りに早くしなさい！って言われても…全然響かない。イヤだなあつとは少なからず思っても、『だってボクはボクだもん』とか『そうかなあ？遅い？』っとしか頭に浮かばない。

ですから、早め早めに準備させてちょうど良い？って感じです。もちろん本人にはまだ充分時間があることは伝えないで。。。追い立てる。でないと『なあんだ、まだ時間があるのか』っとならにペーstadownして意味がなくなってしまうから。

【見えてるものが…見えてない】さらに言っなら…見えないものが見えている？！

コワイ話のほうの「見えないものが見えている」じゃなくて（笑）

一番分かりやすいのは、探し物。

テーブルの上にあるのに、分らない。

けして、隠れて見えにくいわけではないのに！

ただ、立ち位置を一步横にズレたらいいのに！っていうくらいでも

……見えてない。認識されない。「どこ？ないよぉ？！」「っと直ぐにあきらめて引き返してきてしまう。

初めはワザと分らないフリしてない？って疑うほどだったけど、長年ウーフと生活していると明らかになってくること。

不思議なことに、見えてるものが見えてない！！んです。

で、極めつけにいつもの『そうかなあ？』と納得いかない風に言う。

【そうかなあ？】

上でも出てきた「そうかなあ？」ですが。。

こちらの意見に納得いかなくて、少々不満げによく口にされる言葉。同調もしなければ反論もしない。

しかしウーフなりに、確実に納得いかないっという感情表現を相手に示しているつもりなのでしょう。

だけど、それがこちらの感情を逆なでしているのにはちっとも気づかない。気づこうとしない。

【争いごとを嫌う】

もともと人はそうでしょうが。大体的場合は、争い事までに至らな

くとも、多少の考えの相違があるのは仕方のないこと。と思つて生活していることでしょう。

だからといって、初めから社交範囲を狭めたり、自分の主張を控えたりはしないはずです。

その時はその時。。。と思つて範囲を広げたり、自分の考えも何気に発言したりして廻つていくと思つんです。

しかし、はじめの方の特性でもあるように、人との争いを嫌う・・・それゆえに「一人でいるのが好き」「周りが気になる」「依存性が高い」などウーフそれぞれによって回避方法が異なりますが、根本は一緒。自分も相手も傷つくのはイヤなのです。

だからなのか？初対面の人とは緊張してあまり心を開こうとせず、様子を伺っているみたいです。

【規則は規則。曲がつた事はイヤ】

なるべく円滑に事を済ませたい。危険や争いを回避しながら自分の立ち位置を探しながら、友達や仕事場での立ち位置を確保しているようなウーフ。

それでも曲がつた事はイヤ。規則は規則。ルールはルール。正義感
は芯にある。

だから、和を乱す人やルールを守らない人は苦手なので、だんだん簡素な間柄になりやすい。逆に親しくなるととても長く付き合
いになる。

【憎めないキャラ】

今までの特性などから、憎めないキャラクターらしい。

キチンとしているつもり。なんだけど、何か一つ忘れている。

・・・スローテンポなところがイライラするはずなんだけど、そんなところも含めてウーフラしさと認識されて、特に年長者からは可愛がられる傾向にある。

なんとも得な人格。

ウーフの自信：

ウーフを理解しようとしても難解な生き物なので、なかなか至難のワザです。

しかし、分析を楽しめたらいいかな？って思っています。

前回の【時間】と並んでウーフならではのキーワード【自信】です。

まるで、彼らの中にはもう一人のつといていましょうか…もう一匹の生き物がいるのでは？と思うくらいなんです…

勉強にしろ、遊びにしろ、何かをする上で親や周りの大人を悩ますような発言・発想を時にするんです。

それは自分の好きな事や関心のある事に対して、または自分の得？というかプラスになる事に対しては多々みられる傾向にあります。

しかもそれらは《根拠のない自信》の基に掲げられた砂上の城なんです…！彼らは普段メチャクチャ譲り合い精神バシバシなのに…

そういう時に限って”頑固”なんです（-_-;）

そう。。。『そっかなあ？』なんて全く気のない返事をしたりするんです。

いや…全く気がないのはもちろんの事ですが、もしかしたら自分の意見はまだ正しいって思っているのかもしれない。

まあそんな時はムリじいしないで、『そういうもののなのよっ』ていう程度に留めて…しかしこちらの意見を主張させる程度にしておきましょう。ムダな時間とエネルギーを使って言い争いして、お互いに気分を悪くするよりよっぽどいいですから（^ー^;）

また、今まで話していた、強気なまでの《根拠のない自信》をみせる時もあれば……

全く正反対の、前者とは違う弱気で内向的な《不安・心配性》の塊になる時もあります。

まあそれらはウーフのもつ周りの目を気にする控えめな性格から想像するのに容易なんですけどねえ。

前者の例えをみていただければ分かる通りに、自分の苦手とする事・興味の浅い事・行ったことのない場所・未経験の事……たいていの方が多少自信のない事って考えられる場合って思ってた下されば大丈夫なんですけど……。

彼らの不安感・心配度はハンパじゃないです。

「考え過ぎだから……もうちょっと自信もったら？」っと何度言っただことか（――；）

極端ですねえ。どっぷり浸かるか近寄りもしないっていうくらい遠巻きにいるか……

まあ、ある一面ではそのくらい分かりやすいので、敵も作りにくいです。

世間でいう天然系とか癒し系とか、のんびりしたところが評価される時もあります。

場合によっては、シアワセなキャラっといいましょうか？得な性格に変化してしまったりしますねえ。但し、そんな時にも前者の《根拠のない自信》が顔を出し……ボクってスゴいかも（＾Ｏ＾）っとか満面の笑みだったりします。

やはり、親は上手くそこらへんをアメとムチで誘導するべきでしょうね。

ただし、のんびりした部分を放任しすぎると、成長過程で世の中の波に乗れない…っというか、世の中の波に溺れて漂流してしまうかも？なんて心配も出てきます。

ですから、ウーフはウーフらしく…カッコつけずに穏やかにのんびりと、そのまま大きく育って欲しいのですが…

多少は『自分』っていうものをもつこと、自分の言葉でしっかり伝えられる『人間』になること、一人でも歩いてゆけるようになること。を身につけるように仕向けてゆきたいものです。

そう、ウーフって…変なところで頑固ですから。そして、変なところで真面目ですから。

うちのウーフの反抗期（前書き）

今回はウーフの話というより、私サイドの話がメインになってしまいました。こんな反抗期を過ごした家庭があるんだ・・・と思っています。

うちのウーフの反抗期

そもそもウーフというのは、のんびり屋の男の子につけられる愛称だっ तरीしますが・・・

そんなウーフたちも例外なく思春期・反抗期というお年頃を迎えます。

母親としてはとっても心配なわけですよ・・・

元々彼らはウーフ。

そう、彼らは自分の世界にのんびりと生きる謎の生物。

人並みに反抗期なんか迎えても、自分自身受け入れられないんじゃないだろうか？

日頃のストレスを発散させるように、大爆発されるんじゃないだろうか？

もしかしたら、反抗期なんてなくて大きくなってしまふのか？

もし爆発されたら、そんな時私はどんな風に対処したらいいのだろう。

どのように接したらウーフはウーフらしく自分を取り戻してくれるのだろうか？

悩みました。ホントに久しぶりに真面目に考えました。

・・・息子のはある日突然でした。・・・

主人が入院中。

息子と私の二人だけの生活を心配して、私の両親が泊まりにきてくれた時でした。

ちょうど春休みから新学期が始まったくらいの頃。

普段優しい祖母が、一緒に住んでいる内孫の兄弟を褒めて・・・
「こんな状況なのだから、お母さんを助けなければね。」と言うような内容の話をしたのでした。

突然怒った様に荒々しく部屋を出てゆき、部屋にこもってしまいました。

もちろん自然な流れだったんでしようけど、本能的に気にしているし・・・頑張っているにも関わらずって思ったのでしよう。

それから気まづくなってしまうし、実の両親とはいえ久しぶりに毎日一緒に暮らしてみても疲れが溜まってきていました。自分ではそれとなく・・・だったんですが気に触ったようで。

「この1週間ありがとう。そろそろ二人でも頑張ってみるわあ。いつまでもじゃ悪いし。」

つと言ったところ。。。

母は怒ったように帰り支度を始めたんです。翌朝両親は実家に帰ってゆきました。

時々父がやり取りに応じてくれますが、1年近く経った今でも母とは話をしていません。

寂しいとは思いますが、新しい家庭を築いている私にはどうすることも出来ないし、むしろ遅い親離れが完全に出てきたかな？なんて思っています。

その後の息子は・・・

両親が自分がキツカケで足早に帰ってしまったのでは？とも考えて

私に聞いてきましたが、私自身の問題だからコレで良かったのよ。っと笑顔で話すと

色んなことを察してくれたのか否なのか、黙って頷くだけでした。

そして、今まで以上に会話をするようになりました。

春から夏にかけて・・・

機嫌が良い時もあれば、何もないのに気が立って任侠映画の様に眼光鋭く・・・肩が触れただけで倍返して暴言が返ってくるって言う状態。

悩みに悩みましたが、ウーフ仲間のママ友達と話していたら何となく気分が晴れたんですよ。

それから、習い事の先輩ママさんにグチったら色んな体験談を聞かせてくれて

「うちも上の子の時に大変だったのよお。1、2年くらい波があつてねえ。チビたちにも近づかない方がいいからあつちで遊んでなさい。って言ったりねえ。でも今じゃケロリとしてるわよ。」

「お姉ちゃんの時とは色々あったわよお。普段大人しく見られるけどお（ハロハ）スゴイ言葉使いしてねえ。やっぱり1年間くらい良かったり悪かったり繰り返して、気が付いたら治ってたみたいない感じかな？」

そうだよねえ。。。やっぱりそのくらい続くんだあ。でもずっとじゃないから辛抱するかあ。

そんな風に思っただけを見ていたら、夏休みが始まる頃には俗に言う「キレる」ことはなくなりました。

最近一年前の話をしましたが、彼曰く「あの頃はイラついてるの自身にも腹が立ってて・・・でも、何でイラついてるのかも分からないんだけど、とにかくイライラしていたんだ。」だそうです。

そんな話が出るのも何かハードルを越えて、一つ成長できたからなのかもしれません。

今では、主人の身体の事。仕事の事。など相談にのってもらったり

しています。

中学2年で、後輩と先輩との間になって色々こなす様になったから理解できることっていうのがあるんじゃないかな。

まだまだ成長過程ではあるけれど、ウーフ的な感性でだんだんツネタの皮を被れる様になってきたのかな？なんて思っています。

うちのウーフの反抗期（後書き）

どうですかねえ。とりあえず反抗期の真っ只中では書けなかった事ですが、ウーフなりの葛藤があっただと思います。それを受け止めてあげれば、トンネルは長くはないと思いますよ。

時間が必要

今回扱う『時間』は、以前に出てきたウーフ時間に似ていますが、微妙に違います。

今回ののは、動作がスローな方ではなくて、結果や結論がでるまで時間がかかる。っていうお話。

【ウーフ、高野豆腐説】

はっ？　　っていう感じですが、共通点を探すと……笑っちゃうほどピッタリなのに気がつきます。

今までの話から、ウーフの特徴はイヤってくらいお分かりのハズ。そう！　何にしても時間がかかる。もしくは、何にしてもじっくり待つ必要がある。

そのため、母親はイライラしてしまっって親子ゲンカに発展！
っていう負の連鎖反応になりやすかったと思います。

では、急な話ですが、今回のキーワードの【高野豆腐】
お料理する前に、戻す手間はかかりますが、ふくめ煮にする時は放っておけばおくほど染み込みます。

かたやウーフの話。

初めての事は、なかなか定着しにくい。または、なかなか取っ付きにくい。

さらに、初対面の人には警戒心が強い。観察しまくる。

しかしコチラが少し耐えて、時間をかけてじっくり取り組ませれば、パターンを自分のものとして、上手くこなせる。

ココで出てくるのが「根拠のない自信」「僕ってすごいかも?!」

って特性。

そして結果として、大人顔負けの結果を出すことも遣りかねない。

そうです。

親はイライラしがちですが、習慣が染み込むまでに時間がかかるんです。

しかも、一度習慣が染み込んでしまえばこっちのものの、継続し続けます。

「ウーフは高野豆腐の如くなり」

例えば、基礎英語。

息子も友達も聴いています。

友達は中学1年から丸2年間

息子は中学2年夏休みから半年強

ともに習慣づくまで1ヶ月くらい、親が時間になると促していました。

その後は、時間になるとちゃんと聴いています。

しかも次の学年の自然に聴いていたりします。

たった15分間。

チリも積もれば山。

いやこの場合は、継続はチカラでしょうか。

自分から2学年分聴くようになりましたし。

っていうことは、30分聴いてるっていうことだから、聴くチカラはしっかり着いたかと思えます。

恥ずかしい話ですが、中学1年の頃は、カタカナ英語で読んで、bとdを間違えて書いていた子です。

悩んで、色んな教材も試しました。それでも定着しなかったんです。驚くことに、それでも英検4級も中2でとれました。

この話の冒頭にもあります通り

「コチラが少し耐えて、じっくり取り組ませれば、自分なりのパターンを掴んで、上手くこなせるようになります。」

多分、それがこれかな？　　っと思います。

次のキーワードも意味合いは同じですが【牛歩】

そう、「牛歩」って国会議員の進んでいるか止まっているのか分からない程の一步ずつ進んでいる戦法！？

前での英語も、定期考査や小テストを一つ一つみていると、イライラの種が満載。

「また同じような間違いして！」

「ピリオド忘れてる！」

「英文がアルファベットの羅列で単語の区切りがどこか分からない！」

上げたらキリがないくらい紙の上に散りばめられています。

でも、最近になって思うことは

「そう、この子はウーフ。一気に間違えを訂正できる子だったら、とつくにトップレベルの学力が付いてるわ。」

「中1の時には、『Yes, I bo』とか『O c t o d e r』とか書いてたじゃない。それが単語テストで合格する様になったんだし。すごい事だよ。」

「宿題やってて、ああ！これ a s : a s じゃんカンタンじゃんとか言える様になったし。」

すごい低次元の話だと思いかもしれないけれど、そこまで目線を低くしないと理解できない話もある。

それに、そうやって目線を低くしたからこそ、僅かながらの成長も

発見できる部分もありますしね。

ウーフなんだもん、気が付けばコレだけ成長してる。
進みは遅いけど確実に前進してるじゃない？そうそう、まるで牛歩のようだね（笑）

だから、成績表を頂いてきても、もちろん頑張らなきゃいけない点はしっかり話します。

だけどそれだけじゃなくて、苦手な科目なのに総合評価が上がったね！とか、得意な科目は学年順位保守出来た。とか、男子なのに家庭科が上がったね。褒める要素を見つけて評価してあげるようにしました。

だって、悪いところは自分でも分かってますから、中学生だし。もちろん、最後は今後どのようにしたらいいか意識付けの意味、その悪い点に気づいているかの確認も含めて、自分の言葉で言わせます。

まあ、これはウチの場合ですが。

結局、「ウーフ時間」が身体に染み込んでますから、急がせたり結果を早く要求するのは根本的な解決にはならないんですね。
だから、僅かながらの成長を見守りましょう。

牛歩の歩みを……

大きくなると…

『学校では話かけないで。』

先日、授業参観に行った時に休み時間、校内の場所をちょっと聞きただけなのに言われた。

だんだんと「外での自分」「家での自分」をウーフはウーフなりに分けはじめらしい。

ウーフ的には、“やったね。これで完璧！ツネタの皮を着たぞ！（bハァ。）” っと思っているつもりなのだろう。

だけど、母からしてみれば所詮

「ねえキミ、背中 của ファスナー全開だよ。」

っと言ってあげたい状態。

まだまだ完璧にツネタを着こなせてないのに。

その点、主人は私もまんまとツネタに成りきっている彼に惚れて…結婚して…5年前くらいに彼もウーフなんだ！っという驚愕な事実が発覚するまで気づかない完璧ぶりだった。

そうそう、息子の半分ツネタっぷりは続いて、一緒に歩いている時に、いつもと同じように話しかけてるだけなのに

『ちょっとバカっぽいから やめてくれる。』

っと言ってきた。

「は？ どなたですか？」 っって聞き返したくなるくらいだった。ガーンって感じで、結構ショックだった。

もしかしたら、私って子離れ出来てないのかな？ なんて自分自身

色々考えてみたけど腑に落ちない。

ダメ。分らない。

だって「子離れ出来てない」っていうほど子供に依存もしてない。むしろ、男の子だから、ある程度野放しにしておいてるつもり。

友達関係・部活関係・勉強関係

全然話を聞かないわけではないけれど、根掘り葉掘りは聞かない。元来おしゃべり野郎だから、ある程度は話してくれるので、恐らく真実は3分の2くらいだろうなあとと思って聞いている。

女三姉妹で育った私にはこのくらいの中途半端な男子は分からない。もともと謎の生物の【長男ウーフ】だっていうのに、理解不能の度合いは減る兆しは見えない。

理解しても、また別の角度から未知なる因子が出現してくる。

さすがに私もホトホト疲れます。

そんな時は、勝手に主人にバトンタッチしてしまう。

『そろそろ分らない領域だから、お願いね。』っと。

息子の通う学校は元々男子校。

今年度より共学化され、少しの女子も他学年にはいる。

本人は気にもしていない。

女子はウルサイから嫌だ。って言うけど

やっぱり多少は気になってるのかも知れない。

朝出かける前は頭の寝癖を今まで以上に気になるし。彼ら流のスタイルで、制服を着崩していたりするし。ウエストが細くなったかも？とか気にしてみたり。

ハハハッ結局やっぱり年頃なんだわねえ。

なあって私は思ってた横目で楽しんでいる。

そうそう、あとはツネタの着ぐるみを両足しか履いてない状態。丸つきり腕を通してなくて、上半身だけウーフのまま。

ミノタウロスっぽい感じっていうのかなあ……。

遊園地とかで着ぐるみのバイト君が休憩しているみたいな格好。っていえば分かりやすいかなあ。

それなのに、「僕ってツネタ着られたよ（*^o^*）」って思ってるウーフもいたりする。

これは見ていてイタいですね。

ウーフは見ていて飽きない生き物。

だけど、我が子に限ってはハラハラさせられっぱなしだったりもする。

そんな我が子もいつかは上手にツネタを着るようになる。

社会で一人前の顔して生活して、帰宅後皮を脱ぐ。

結局自分を着飾って押し殺して生きるのだろうか？などと邪心も過る時もある。

元々素直なおっとりとした、ただマイペース過ぎる子なんだけどなっと分かりつつ…

そうして生きないと生きられない世の中なんだよなあ。なんて自分に言い訳してみたり。

ウーフの母を代表して言ってあげたい。

『世の中のウーフたちよ。あまりムリをしすぎて身体を壊さない様に気をつけるんだよ。』

エピソード（前書き）

今回はいきなり最終回になってしまって申し訳ありません。

しかし、ここで一区切り付けておかなければいけないことに気づきましたので。

また改めて別の切り口でお母様向けにスタートできたらいいなあって考えております。

つということで、このウーフ話の本来の意味も願いも込めまして。

エピソード

はじめに言っておかねばならなかったのですが、最後になって書くことをお許しく下さい。

ごめんなさい。

今まで色々な表現でつらい思いをさせてしまったこと。
改めてお詫びしたいと思います。

ただ、どうしてもこうやって書いて残したかった訳があるんです。
自分自身悶々として、姉や周囲、雑誌などを手がかりに手探りで育児をしてきて、もともと子供好きの私が迷いに迷って、悩みに悩んで、不信に陥ったこと。

「もうダメだ。」

「なんでこうなっちゃうの？」

「可愛いのに、可愛くない。」

「この子はどうしても出来ないの？」

今思えば、なんてことない事一つ一つに真剣にぶつかり過ぎて、悩みすぎて、育児書通りにいかないのは分かっているにもかかわらず、不安になり、自分を責め続けた日々があります。

それは、まだ成人して間もない時期にお嫁に来たこと。

義父と同居で、義母は居りませんでした。

実家の母はまだ働いておりましたし、二人の姉はもちろん子供をもつておりました。

電話で聞くなりすればいいのですが、今のようにメールやケータイをお互い持っているわけではありませんし、お互いバラバラの時間軸で生活しているため聞くに聞けませんでした。

そのため、先ほど申しましたが大半は雑誌や育児書からの知識。

または過去の姉達の育児を思い出して、自分流に当てはめてやってきたつもりです。

そして最後は、自分の生い立ちを覚えているところから記憶を辿って、母がしてくれた事や父が聞かせてくれた事の中で我が子に伝えたいことを教えていった。っという感じです。

息子が小学生になって、だんだん男子特有の言い回しや言動になってきてからは、共に子育てしている周囲のママ友達が良き相談相手であり、良きアドバイザーだったりしました。っというより現在進行形です。

よって、このエッセイはあくまでも「子育てエッセイ」として、第1子または男の子のお母様向けに書きました。

なので、子供サイドで読まれますと、気分を害される部分があります事を改めてお詫びいたします。

個人的観念と概念から、育児に対しての不安や心配を少しでも軽減出来たらいいな。っという願いを込めての一心である事をご理解くださいませ。

親愛なるウーフたちへ

今まで一人の女性であった私達を「母親」にさせてくれてありがとう。

あなた達がいるからこそ
女であり

妻であり

一人の人間の人生を

「母」という一面を持たせてくれたおかげで

より幅のある人間性と豊富な知識を得ることが出来ました。

これからよろしく願います。

ウーフの母親を代表して はるか より。

エピローグ（後書き）

ぼちぼちのらくらと、ゆっくりまったりと続けてゆこうと思っていたのですが、そうも言ってはられない現実に思い起こされたので、まずははじめとして一区切りつけることにしました。

やっぱり我が子は誰でも可愛いですからね。

愛情もって育てたいと思うのですが、やはり毎日の日常の中では甘い言葉ばかりかけられませんから、どうしても厳しい言葉が多くなってしまうが、たまには立ち止ることも必要かな？とも思っています。

皆様の健やかな毎日を願って……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9831f/>

【長男（ウーフ）】の育て方

2010年10月14日14時19分発行